

那須烏山市立

下江川中学校 閉校記念





閉校に寄せて

那須烏山市長
大谷 範雄

平成 26 年度を以って、歴史の幕を閉じることとなった那須烏山市立下江川中学校の閉校記念誌発刊にあたり、ご挨拶を申し上げます。

本校は、昭和 22 年に下江川村立下江川中学校として創立して以来、幾多の年月を過ぎ、地域の皆様と共に歴史と伝統を築いてこられました。その歴史の中には、数多くの優秀な人材を輩出いただき、市の発展に多大なご尽力・ご協力をいただいております。改めて下江川中学校の関係者各位に深甚なる敬意を表する次第でございます。

近年の人口減少と少子高齢化等により地域環境が大きく変化する中で、教育環境、教育効果等を考慮し統合にご英断をいただきました地域の皆様や学校関係者の皆様の心情を思いますとき、愛惜の念いかばかりかと拝察申し上げます。

これからは、新中学校となり、将来を担う生徒たちが、明るく活気に満ち、心身ともに健全に育ちますよう地域の皆様には、なお一層のご支援・ご協力をいただきながら、本市の総合計画基本構想に基づき、市独自の学力向上対策、知・徳・体の文武両道教育の充実、家庭・地域・学校と連携を密にした安全安心な教育環境づくり等をさらに推進し、子ども達の育成支援に力を注いでいきたいと考えています。

結びに、今日まで下江川中学校を支えご尽力くださいました関係各位に深く感謝を申し上げますとともに地域の皆様のさらなるご発展を祈念しまして閉校に寄せてのご挨拶といたします。



下江川中学校の 閉校に寄せて

那須烏山市教育委員会
教育長
池澤 進

昭和 22 年 4 月創設の下江川中学校が、68 年に及ぶ歴史の幕を閉じようとしております。その別離と喪失に際し、本校が地域との信頼関係を基盤に築かれたその伝統を想うとき、この学び舎を巣立っていかれた多くの同窓生を始め、地域、PTAの皆様の「万感胸に迫る」の心境を察せずにはおられません。市教育行政の責任者として、本校の教育を新設中学校に継承する責務を痛感しております。

下江川地区は、新緑に紅葉、江川の流れ、シモツケコウホネが咲き誇る自然豊かな里です。地域には人情味豊かで心温かな人々が住まい、教育と地域づくりに情熱を注いでこられました。「科学技術庁官賞」、「人権作文コンテスト学校賞」、「よい歯の学校コンクール入選」など数々の実績を残されました。今日までに卒業された六千八百余名は、こうした誇るべき自然や地域性、本校の教育が育んだ賜物と言えるでしょう。

しかしながら近年の少子高齢化による生徒数の急減は、学校における教育活動を阻害するに至りました。この有事にあたり市は本校と荒川中学校を統合するという苦渋の案を示しました。教育にかける情熱と叡智により統合を選択されました本地区の決断に、心より敬意を表します。やむなく閉校となる当校に惜別と寂寥の感は絶えませんが、その歴史と伝統は同窓生、地域の方々の心の中に受け継がれ、新設中学校で醸成されることと確信いたします。

結びに、今日までの間、当校を支えて下さった関係者の皆様に深く感謝申し上げます。更なる下江川地区の発展を祈念申し上げますとともに、今後の新設中学校への御支援をお願い申し上げ、寄稿とさせていただきます。



閉校に寄せて

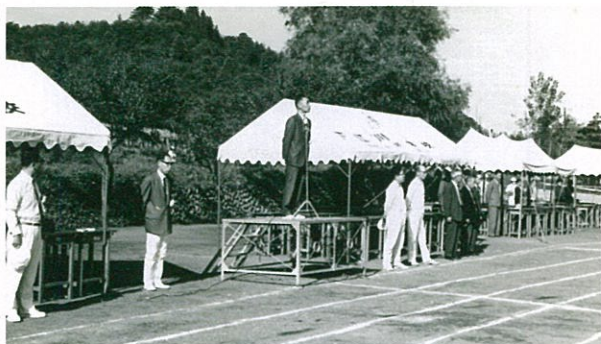
同窓会長
木島 利和

昭和22年4月に、下江川村に地域の方々の奉仕と教育機関が一体となって誕生した下江川中学校は、開校以来、下江川地区の教育の中心としての役割を果たしてきました。平成27年3月までに6830人の同窓生を輩出する創立68年の学舎が閉校することはとても寂しいことです。

私ごとですが、木造校舎の教室に50名前後の同級生が、所狭しとひしめきあい、切磋琢磨して生活していたのを思い出します。

記念碑に自立友愛の文字があり、その基盤となる「感性、自主性、創造性」は生徒の立志のもととなってきました。「自立友愛」の理念のもと、同窓生が様々な分野で勇躍してこれたことや、中学生時代の友を人生の友としてこれたことに感謝しています。

これまでに、同窓生をご指導頂きました、先生や地域の皆様に敬意と感謝を申し上げ、中学校同窓の言葉といたします。



FINAL ～新たなる出発～ 下江川中学校

P T A 会長
池尻 秀一

本校は昭和22年4月、下江川村立下江川中学校として開校し、この間、地域・文化の拠点として輝かしい歴史と伝統を築いてきました。そして、平成27年3月をもって閉校することになりました。時代の流れ、社会情勢の変化とはいえ、小規模校だからこそできる「学校・家庭・地域」が一体となって織りなす無限の力を感じていたなか、この下江川地区から母校でもある中学校がなくなることは誠に愛惜の情耐えがたいところがあります。

石碑に刻まれた「自立友愛」の精神は、下江川中学校の永い歴史の中に引き継がれてきたものです。常に、愛江祭など子どもたちの教育活動をとおして、「自立友愛」の精神が伝統として確実に引き継がれていると実感していました。

今、歴史を重ね、下中の精神を育んできた地を飛び立ち、種が風に吹かれて新しい土地へ根をおろすように、下江川中学校が新しい実を結ぶべく新たな地に根をおろし、荒中と共に、南那須中学校へと芽吹きます。その地で新たに多くの実が実り、それぞれの未来へと飛び立ってほしいと願います。「終わりではなく始まりである」閉校のこの時を、喜びを持って迎えたいと思います。

最後にこれまで本校の教育を熱心に指導してくださった下江川中学校の校長先生を始め、教職員の皆様に感謝いたします。また、学校を支援していただいた地域の皆様、PTA会員の皆様にも心から感謝いたします。これから始まる南那須中学校にも同様のご支援をお願いいたします。



「自立友愛」の精神

校長

山久保 拓男

校舎前の庭園にある校訓「自立友愛」の石碑、長い間、生徒を見守り語りかけてきました。この精神が本校で学ぶ生徒の中にしっかりと根付き、それが学校の雰囲気、そして地域の雰囲気となって受け継がれています。

昭和22年度に開校し、地域の皆様を始め、歴代の校長先生や教職員が築き上げてきた本校も、今年度末をもって閉校となりました。私は、本校に奉職して一年でしたが、美しい自然環境の中、人情味豊かな地域の皆様に支えられ、充実した毎日を送ることができました。「人が環境を作り、環境が人を作る」と言われますが、この地域の温かな雰囲気がそのまま学校の雰囲気となり、それが勤勉で思いやりのある生徒、正に校訓である「自立友愛」の姿につながっているのだと感じました。この「自立友愛」の精神は、必ずや新しく誕生する「南那須中学校」の歴史と伝統作りの礎になることと信じております。

これまで本校にお寄せいただきました皆様の温かいご支援・ご協力に感謝申し上げますと共に、皆様のご多幸と本地区の発展を心よりご祈念いたします。



ありがとう。そしてさようなら。 下江川中学校

生徒会長 佐藤 優梨香

「あなた達は最後の下中生なのよ。」

今年になって先生方から何度となく言われたこの言葉。来年度は荒川中との統合により、下江川中は、その歴史に幕を閉じます。

私は下江川中の最後の生徒会長として4月から、新しい活動やさらにレベルアップした活動に取り組んできました。

今年から始めた「あいさつ運動」もその一つです。昇降口にさわやかな声が響きました。

特に学校祭である「愛江祭」は、「FINALE～新たな出発のために～」のスローガンのもと、そのすべてが思い出に残るよう、改善を加え、工夫したつもりです。後夜祭に本校卒業生の歌手、柴野真理子さんをお招きし、大いに盛り上がりました。下江川中最後にふさわしい、すばらしい一日となりました。

一つの行事が無事に終わるたび、満足感と同時に寂しさがこみ上げてきました。

数え切れないほどのすばらしい思い出が残る下江川中。閉校してしまうのは、やはり寂しいです。だからこそ、一、二年生には自分達の手で、下江川中と荒川中、それぞれの伝統を受け継いだより良い「南那須中学校」を築き上げてほしいと思います。

下江川中で過ごした三年間は、本当に最高でした。これからも下江川中はたくさんの人々の胸に輝き続けるでしょう。

ありがとう。そしてさようなら。ずっとずっと大好きです。下江川中学校……。



下江川中学校の沿革（概要）

昭和22年	4月 1日	学制改革により、下江川村立下江川中学校新設、校章制定
昭和30年	3月	校歌制定（作詞：田村 長氏、作曲：武山信治氏）
昭和30年	6月 1日	下江川村・荒川村合併により南那須村立下江川中学校と改称
昭和41年	3月	校碑「自立友愛」完成
昭和44年	4月	昭和44・45年度文部省指定「道德教育研究学校」
昭和46年	9月 1日	町制施行により、南那須町立下江川中学校と改称
昭和54年	4月	昭和54・55年度文部省指定「生徒指導研究推進校」
昭和59年	4月	昭和59・60年度県PTA連合会委嘱「研究PTA」
昭和61年	1月15日	第16回下野杯中学生サッカー選手権大会優勝
平成 元年	4月	平成元・2年度栃木県教育委員会指定「同和教育研究学校」
平成 元年	4月10日	下江川中学校新校舎建設用地造成引渡式並びに竣工式
平成 2年	7月31日	新校舎（4,044㎡）落成
平成 3年	11月18日	PTA：優良団体として表彰（文部大臣）
平成 4年	2月20日	新体育館落成
平成 5年	4月	栃木県教育委員会指定「高齢者福祉教育実践活動モデル校」
平成 5年	4月12日	科学技術庁官賞受賞（創意工夫育成功労学校表彰）
平成 6年	12月10日	全国中学生人権作文コンテストへの協力により感謝状（法務省・全国人権擁護委員連合会）
平成 9年	6月	総体予選南那須地区陸上競技大会総合優勝
平成 9年	10月	地区駅伝大会男女優勝
平成10年	4月	平成10・11年度日本進路指導協会研究委託校
平成12年	10月29日	同窓会設立総会開催
平成12年	12月10日	人権擁護活動における功績により感謝状（法務省人権擁護局・全国人権擁護委員連合会）
平成13年	4月	平成13年度栃木県教育委員会指定「新教育課程プロジェクト校（総合的な学習の時間）」
平成16年	10月29日	地区駅伝大会男女優勝
平成17年	10月 1日	南那須町・烏山町合併により那須烏山市立下江川中学校と改称
平成18年	3月27日	少年消防隊「優良な少年消防クラブ」として表彰 （全国少年消防クラブ運営指導協議会長・消防庁長官）
平成20年	2月14日	栃木県理科研究展覧会・発表会 最優秀賞「シモツケコウホネについて」
平成21年	10月27日	学校音楽祭中央祭（合奏の部）金賞
平成24年	8月	校舎内普通教室等に空調設備整備
平成26年	3月	グラウンド整備工事完了
平成27年	2月22日	閉校式挙行
平成27年	3月31日	下江川中学校、荒川中学校の2校統合により閉校



歴代校長・歴代同窓会長・歴代 PTA 会長



歴代校長

初代	八板	識	昭和22～23年度	13代	佐藤	繼也	平成元～3年度
2代	羽鳥	保	昭和24～28年度	14代	羽鳥	一郎	平成4～5年度
3代	池田	叶	昭和29～31年度	15代	杉本	忠三	平成6年度
4代	小西	豊	昭和32～40年度	16代	皆川	晃	平成7～8年度
5代	手塚	益雄	昭和41～45年度	17代	栗田	和行	平成9～11年度
6代	佐藤	喜平	昭和46～50年度	18代	碓氷	正和	平成12～14年度
7代	大橋	敏郎	昭和51～53年度	19代	久保田	久男	平成15～17年度
8代	藤田	義明	昭和54～55年度	20代	田村	卯	平成18～19年度
9代	仲山	貞夫	昭和56年度	21代	藤田	富司	平成20～21年度
10代	高沼	理夫	昭和57～59年度	22代	郡司	広美	平成22年度
11代	吉村	正	昭和60年度	23代	佐藤	啓司	平成23～25年度
12代	小堀	功	昭和61～63年度	24代	山久保	拓男	平成26年度

歴代同窓会長

初代	高津戸	茂	平成12年度～
2代	木島	利和	平成19年度～

歴代 PTA 会長

初代	八板	誠	昭和22～23年度	29代	水上	正治	昭和63年度
2代	柴山	拓夫	昭和24～27年度	30代	富田	義雄	平成元年度
3代	滝口	儀一	昭和28年度	31代	高津戸	茂	平成2年度
4代	網野	周平	昭和29～30年度	32代	野尻	進一	平成3年度
5代	小川	勝	昭和31年度	33代	二方	啓寿	平成4年度
6代	高野	貢	昭和32年度	34代	相田	芳男	平成5年度
7代	越雲	栄	昭和33～35年度	35代	石川	強	平成6年度
8代	矢口	常光	昭和36年度	36代	小川	正徳	平成7年度
9代	笹崎	重博	昭和37～39年度	37代	小針	彰彦	平成8年度
10代	木島	正枝	昭和40～41年度	38代	金枝	好光	平成9年度
11代	菊地	武	昭和42～43年度	39代	木下	悦男	平成10年度
12代	川上	俊治	昭和44年度	40代	木島	利和	平成11年度
13代	和久	礼一郎	昭和45～47年度	41代	中山	忠夫	平成12年度
14代	水上	文雄	昭和48年度	42代	石澤	聖生	平成13年度
15代	相田	良一	昭和49年度	43代	栗田	一美	平成14年度
16代	荒井	瀬吾	昭和50年度	44代	小口	久男	平成15年度
17代	田代	力正	昭和51年度	45代	堀江	清一	平成16年度
18代	稲沢	実	昭和52年度	46代	塩田	則男	平成17年度
19代	戸谷	義光	昭和53年度	47代	平塚	洋一	平成18年度
20代	佐藤	昭男	昭和54年度	48代	矢板	春男	平成19年度
21代	中山	幸	昭和55年度	49代	木下	実	平成20年度
22代	久宮	敏夫	昭和56年度	50代	柴山	良典	平成21年度
23代	高野	伸	昭和57年度	51代	佐藤	光明	平成22年度
24代	吉沢	文儀	昭和58年度	52代	小峯	洋一	平成23年度
25代	矢口	公一	昭和59年度	53代	河合	聡	平成24年度
26代	中山	粂男	昭和60年度	54代	滝口	哲也	平成25年度
27代	船山	一夫	昭和61年度	55代	池尻	秀一	平成26年度
28代	網野	利英	昭和62年度				



2年



1年1組



1年2組



3年



サッカー部



卓球部



駅伝



科学部



テニス部



愛江祭スポーツ



南那須地区音楽祭合唱



陸上部



バスケットボール部



吹奏楽部



愛江祭全校合唱



少年消防隊



旧校舎航空写真



新校舎航空写真

写真提供：ユニオン・エンタープライズ（株）、（株）スカイワールド



下江川中学校校歌

作詞 田村 長
作曲 武山 信治

一 朝ぼらけ 那須の峯 はるかにのぞみ

若人の 心豊かに はつらつと

希望の火 燃えて輝く

学び舎の 幸をよるこび

清らかな 清らかな 誇りに生きる

二 花開き 健やかに 伸びゆく文化

たゆみない 江川の流れ そのままに

友愛の ちぎりも固く

真理の途 たずねてゆけば

明るくも 明るくも 理想はかおる

三 あたご山 美しく うるわ ほほえむひとり

ゆるぎない 郷土の明日を うちたてる

情熱の まことを誓い

ひとすじの 使命をむけば

楽しさに 楽しさに 歌声あがる



パソコンやスマートフォンで、校歌が聴けます。

但し、一部対応していない機器もございますので、その際はご了承ください。

http://nasukarasuyama.ed.jp/kyoiku/?page_id=45

編集：下江川中学校閉校準備委員会